



川崎市立宮内小学校 学校だより9月号 令和6年8月30日



せいこう はんたい しっぱい 「成功の反対は失敗ではない」

こうちょう りくたゆきこ校 長 陸田由喜子

養い養休みが終わり、学校には、子どもたちの元気な学が戻ってきました。養保み萌け物質、子どもたちは、模造紙にまとめた質品研究や様だな工夫を凝らした工作など、たくさん荷物を抱えて登校してきました。登校時、荷犬かの子が、元気な挨拶とともに、「私に質品研究で取り組んだ事祸を詳しく説明してくれたり、養保みにお出かけしたときの思い出を嬉しそうに話してくれたりしました。話している子どもたちの生き生きとした「表情と奏顔から、光美した養保みの様子が伝わってきました。

そんな 2024年の夏、パリオリンピックが、7月26日から8月11日までの日程で開催されました。日本は、登メダル 20個、銀メダル 12個、銅メダル 13個の名評45個とたくさんのメダルを獲得しました。また、残窓ながらメダルに届かなかった選手や思うような結果が残せなかった選手の精一杯最後まで頑張る変にも、たくさんの感動をもらいました。28日から始まったパラリンピックも進日熱戦が繰り広げられています。パラリンピック出り場という大きな目標を成し象げ、大舞台の中で、方の傾り競い合っている選手の皆さんの変には、心動かされます。9月8日の最終日まで、参加選手の皆さんの活躍に大きな声強を送りたいと思います。そんな選手の皆さんの清がしい変に感動しながら、発明至と呼ばれたトーマス・エジソンの「成功の反対は失敗ではない。挑戦しないことである」という言葉が思い起こされました。実験に15回を超える失敗をしたといわれるエジソンは、「私は失敗をしたことはない。15億りのうまくいかない 芳法を見つけただけだ」と語ったそうです。そして何度も何度も実験を繰り返しながら決してあきらめずに挑戦を続け、ついにはたくさんの発明をすることができたそうです。夢や自標に尚かって努力し続けている間は何度うまくいかなくてもそれは失敗ではありません。その挑戦は必ず夢や自標へと自分を近づけてくれます。そして、たとえ結果が意い適りにならなかったとしても、挑戦すること自体が自分の散長や新たな可能性の発見へとつながり、将来にいかされていくのだと思います。

学校は、9月に入ると、前期のまとめの時期となります。これまでの学習を振り返り、後期の学習につなげていってほしいと思います。そして、荷筆にも粘り強く、前荷きに挑戦する気持ちを大切にしながら有意義な学校生活を送ってほしいと願っています。

授業参観(13:30~)・懇談会(14:30~)

1,5,6 年 : 5 日(木) 2,3,4 年,学習室: 6日(金)

場所や教科等、詳しくは、学年だよりや連絡帳でご確認ください。懇談会では、はじめに全体で学校長より前期「のびゆくすがた」についてもお話しいたします。学習室懇談会は6日(金)15時20分から交流級懇談会終了後に学習室にて行います。

7月末より、小澤菜穂教諭が復帰、河原篤子養護教諭 が着任いたしました。よろしくお願いいたします。

夏休み作品展 5日(木)・6日(金) 8時30分~16時

(12 時から 13 時 30 分の間は、鑑賞できません)

※授業参観や懇談会の折に是非ご覧 ください

前期末個人面談(24~27日)

前期のびゆくすがたの所見について、個人面談において口頭でお伝えいたします。短い時間ですが有意義な話し合いになればと思っております。なお、お子さんについてのご相談や学校への要望等は教育相談日をご活用ください。支援教育コーディネーターや巡回カウンセラーには、その他の日でもご相談いただけます